

実現方策： 世代を超えた交流の場を充実させる

Gr	実現プラン	付箋の記載事項
A グループ	<ul style="list-style-type: none"> ・歌声カフェを月1回, 地域で開催する ・昔遊びを通しての交流(羽根つき・こま・竹とんぼ) ・自治会公民館などで高齢者への出前講座をする (3件) 	・歌声カフェを月1回, 地域で開催する。
		・昔遊びを通しての交流(羽根つき・こま・竹とんぼ)子どもからシルバー, 外国人等。
		・自治会公民館などで高齢者への出前授業をする。
B グループ	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉まつりのイベントなど実施 ・世代を超えた昔遊びのゲームや工作を実施する指導者の育成 <p>(5件)</p>	・福祉まつり等のイベントを通じ交流を図る。
		・朝(コミュニティプラザ等の庭・学校の校庭でラジオ体操) 日中(休日に公園でラジオ体操) 夜間(週1回, 学校体育館で交流)
		・公民館を利用し世代を超えた交流を深める事業を実施する。
		・学校の空教室を利用できないか。
C グループ	<ul style="list-style-type: none"> ・地域施設を活用し地域交流を図る ・誰もが利用できる地域サロンの確保 (2件) 	・地域施設を活用し地域交流を図る。
		・誰もが利用できる地域サロンの確保。
		・公共施設(図書館・学校)を開放して高齢者から児童まで参加の教室を開催させる。

実現方策： 誰もが気軽に利用できる移動手段を確保する

Gr	実現プラン	付箋の記載事項
A グループ	<ul style="list-style-type: none"> ・地域内交通網が細部まで行き渡る ・買い物に行けない家庭に「引き売り」がある <p>(3件)</p>	・買い物に行けない家庭に「引き売り」がある。
		・地域内交通網が細部まで行き渡る。
		・公共の交通が自由に低額で利用できる。
B グループ	<ul style="list-style-type: none"> ・デマンドタクシーの発展的有効活用 ・公共交通の充実 <p>(4件)</p>	・地域内交通(デマンド交通)の運行。
		・公共交通網の整備を図る。
		・デマンド交通を充実させる。さらに3地区(田原・岡本・白沢)でのボランティア交通でスポーツ文化事業を拡大・活性化させる。
		・移動依頼者と補助者の結び(互助名簿)と万一の保険を補助する。
C グループ	<ul style="list-style-type: none"> ・地域内交通の充実・拡大 ・ミニバスのルート拡大 ・ノンステップバスの導入 <p>(3件)</p>	・地域内交通の充実・拡大。
		・ミニバスのルート拡大。
		・ノンステップバスの導入。

実現方策： 地域が連携して住民の生きがいがづくりをする

Gr	実現プラン	付箋の記載事項
A グループ	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校の総合学習補助ボランティアヘルパー人材派遣 ・マナビス(生涯学習センターへの登録) <p>(4件)</p>	・小中学校へ総合学習補助ボランティアヘルパー人材派遣。
		・マナビス【生涯学習センターへ(個人)登録】※シルバー人材発掘
		・地域の人材発掘スカウトが必要(自治会長さん等に聞き込み)
		・教養と特性を生かした高齢者が地域の小中学校の授業及び出前講座に参加する。
B グループ	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会単位で創作活動の活性化を目指す ・生涯学習センターを充実させる <p>(7件)</p>	・自治会で趣味の会等を創設し住民の生きがいがづくりに努める。
		・各自治会の公民館を活用してイベントを実施する。地区別・世代別の交流を作る教室・講話を開く。
		・地域交流館を積極的に利用する。
		・地域回覧(新聞)情報を共有し参加・活動の視覚化。要は未加入者をなくす。
		・自治会活動の活性化を図る。
		・小さなグループや自治会等で学びの場を作る。
		・昔遊びのゲームや工作等の指導者を選ぶ。
C グループ	<ul style="list-style-type: none"> ・人材のデータバンク作成とその活用 ・生きがいがづくりの教室の開催 <p>(2件)</p>	・人材のデータバンク作成とその活用。
		・生きがいがづくりの教室の開催。

テーマ『福祉, 健康, 安全・安心』 グループ協議結果 **【健康】** 実現プラン

実現方策：誰もが楽しめるスポーツを通して健康増進を図る		
Gr	実現プラン	付箋の記載事項
A グループ	<ul style="list-style-type: none"> ・河内体育祭を継続させる ・無料体育講座の活用 <p>(4件)</p>	・公園に簡単なアスレチック的な物を設置する。(長岡公園参照)
		・ニュースポーツ(ラフターヨガ等)がチャレンジできる場をつくる。
		・河内体育祭を継続させる。
		・無料体育講座の活用。
B グループ	<ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキングマップの作成とPR ・スポーツ教室に充実 ・かわちプールの無料化 ・かわちプールの法人会員券の発行 <p>(7件)</p>	・ハートフル運動会と体育祭を合体し、低年齢から高齢者を含めた「スポーツまつり」を実施する。
		・スポーツ教室の充実を図る。
		・自分達で、地域周辺の散歩・散策コースを作る。
		・ウォーキングルートの整備と案内マップ作成。
		・「かわちプール」を無料にさせる。
		・かわちプールの法人会員券の発行。
		・①地区ウォーキングコースの整備と一覧表の作成。②スポーツ施設・サークル・クラブの一覧作成。
C グループ	<ul style="list-style-type: none"> ・ウォークラリーの開催 ・サイクリングロードの活用 ・里山散歩道・田園散歩道のルート作成 ・笑いヨガの開催 <p>(4件)</p>	・ウォークラリーの開催。
		・サイクリングロードの活用。
		・里山散歩道・田園散歩道のルート作成。
		・笑いヨガの開催。

実現方策：食育や地産地消を通して健康づくりを進める		
Gr	実現プラン	付箋の記載事項
A グループ	<ul style="list-style-type: none"> ・食育セミナーを定期的に開催する ・地区内の農産物直売所マップを作成し配布する <p>(4件)</p>	・地域での食堂等での健康づくり。(ワンコイン)
		・食育セミナーを定期的に開催。(日常に役立つ料理教室)
		・おすそ分けできる交流会づくり。
		・地区内の農産物直売所マップを作成し配布する。
B グループ	<ul style="list-style-type: none"> ・各地区単位のグルメコンテストの開催 ・食の駅づくり <p>(5件)</p>	・家庭菜園でも出荷(販売)できる直売所を増やす。
		・食の駅づくり・地区の生産者・食づくりの場を定期的に開催する。
		・河内地区内にグルメコンテストを開催し、各地区・各自治会別競争を加速させる。食材は地産品を中心とする。
		・地域の人達から食の達人を選ぶ。地元で学び合う場をつくる。
C グループ	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の農産物を使用し大鍋大会を開催する ・地域B級グルメの開発 <p>(2件)</p>	・地域の農産物を使用し大鍋大会を開催する。
		・地域B級グルメの開発。

実現方策：ひとりひとりの健康に対する意識を高める		
Gr	実現プラン	付箋の記載事項
A グループ	<ul style="list-style-type: none"> ・健診に行くと、お楽しみ講演会(落語)がある ・アスリートを招いてスポーツ講座 <p>(3件)</p>	・健診に行くと、お楽しみ講演会(落語)がある。
		・アスリートを招いてスポーツ講座。
		・地域の健診受診率UP!(託児付の健診, 薬膳講座付健診等)
B グループ	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センターの有効活用 ・健康カレンダーを作る <p>(6件)</p>	・地域包括支援センターとともに学びの場をつくる。
		・河内地区内の無料健診体制を実施(0歳~100歳まで)※但し希望者のみとする。
		・健康まつりを実施する。
		・健康カレンダーの配布により健康意識を高める。
		・年代別体力の目安表を作成し(薬服用の量も書き込める)ポイントが何かに使える。
		・出前講座等により健康意識の向上を図る。
C グループ	<ul style="list-style-type: none"> ・体力テストの実施 ・健康講話の開催 <p>(2件)</p>	・体力テストの実施。
		・健康講話の開催。

テーマ『福祉, 健康, 安全・安心』 グループ協議結果 **【安全・安心】** 実現プラン

実現方策：交通安全意識を高めて安全で安心な交通環境づくりを進める		
Gr	実現プラン	付箋の記載事項
A グループ	・イケメン人力車	・イケメン人力車。
	・自転車マナーレッスルの講座を行う(小・中学生) (2件)	・自転車マナーレッスルの講座を行う。(小・中学生)
B グループ	・地域用の危険マップを作成し点検活動の実施 (3件)	・自転車利用のルールを学校で教育する。
		・交通安全に関わる地域点検活動の実施。
		・動物等の彫り物, 切り抜きを作り(イベント)要所に立てる。
C グループ	・交通安全講習会の実施(車・人・バイク等)	・交通安全講習会の実施。(車・人・バイク等)
	・道路環境の情報の収集活用 (2件)	・道路環境の情報の収集活用。
実現方策：防災意識を地域に浸透させて防災行動力を高める		
Gr	実現プラン	付箋の記載事項
A グループ	・町内放送復活(地域の学校に協力してもらう) ・町内掲示板の復活(緊急時) (4件)	・災害に向けての避難訓練を徹底する。
		・防災知識の講座を行う。
		・町内放送復活(地域の学校に協力してもらう)※モデル地区で試行してみる。
		・町内掲示板の復活。(緊急時)
B グループ	・防災セミナーを定期的開催 ・防災訓練の定期的実施(各小規模単位で) (3件)	・防災セミナー(簡単なものから)を定期的開催 防災訓練の実施。
		・防災意識を1つとして地域でテント(鉄やカーボン)を立てて非常食を作り訓練等を実施する。
		・河内地域内の交通規制を作る。(50~60km/h)
C グループ	・防災訓練の充実(各自治会で開催) ・自己防災意識の高揚 ・防災無線の設置 (3件)	・防災訓練の充実。(各自治会で開催)
		・自己防災意識の高揚。
		・防災無線の設置。
実現方策：防犯意識を高めて地域の防犯力の向上を図る		
Gr	実現プラン	付箋の記載事項
A グループ	・各自治会単位に防犯体制が整備される(防犯パトロール隊) ・防犯灯の設置(痴漢・置き引きの多い公園や通り) (4件)	・各自治会単位に防犯体制が整備される。(防犯パトロール隊)
		・地域で見守ることができる防災・防犯。
		・防犯灯の設置。(痴漢・置き引きの多い公園通り)
		・防犯パトロール隊の継続。
B グループ	・警察・学校・家庭を含めた防犯教育と防犯リーダーの育成 ・あいさつ運動の推進 (6件)	・互いの顔を知る。(最初はラジオ体操, 朝夕の散歩挨拶)
		・あいさつ運動の実施。
		・言葉を掛け合う。
		・住民による防犯活動(パトロール等)の充実・強化を図る。
		・防犯リーダーを地区内に10人以上作り実践する。
		・警察と地域代表と合同で, 定期的に巡回活動を実施する。
C グループ	・声かけ挨拶の運動実施 ・防犯カメラの推進 (2件)	・声かけ挨拶の運動実施。
		・防犯カメラの推進。